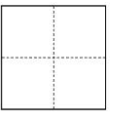
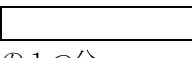


- 1 2年1組 算数 教材名「分けた大きさのあらわし方を考えよう」
- 2 令和3年2月28日(月) 3校時 2年1組教室
- 3 本時の学習(3/4)
- 4 本時で身に付けさせたい資質・能力と手立て
 - ・1/4について、もとの大きさを同じ大きさに4つに分けた1つ分の大きさということを理解している。
 - 手立て…4等分した図を重ねる操作を通して、1/4の大きさについて説明する。
- 5 展開

活動や発問・評価	時	ノート・ワークシート・ICT活用
1. 既習事項を確認する。 ・半分に折った折り紙を見て、1/2の確認をする。 2. 本時の問題を確認する。 T: さらに、半分に折ってみたよ。ここの1つ分はなんて言えそう? S: 4分の1。 S: 4つに分けたから、4等分。 S: 2分の1の半分。 ・様々な形に4等分された図形を確認する。 3. 本時のめあてを確認する。 <めあて>1/4とは、どんな大きさなのだろう? ・4等分された図形と、等分せずに4つに分けた図形を比較して見通しをもつ。 S: みんな同じ大きさ。 S: 4等分になっている。 T: どうしたら同じ大きさだと分かるかな? S: 分かれているものを一枚ずつ重ねる。 S: 全部重なったら、同じ大きさだと言える。 4. 自力解決に取り組む。 ・4等分された図形を重ねる操作をして、分けられた大きさが同じかどうか検証する。 5. 自分の考えを発表し共有する。 S: 1/4は、4つに同じ大きさに分けたうちの1つ分です。 S: 1/4は、もとの大きさを4つに同じ大きさに分けた1つ分のことです。 6. 本時のまとめをする。 <まとめ>1/4とは、もとの大きさを同じ大きさに4つに分けた1つ分。 7. 振り返りをする。 ・等分された図形と、等分せずに分けられた図形の中から、提示された分数と同じ大きさを示す図形を選ぶ。 〈評価: 知識〉もとの大きさから分けられた様々な図形の中から、4等分、3等分された図形を選択することができる。	2 5 8 10 8 7 5	・前時の活動でもとの大きさを2等分した折り紙を提示して、書き方を確認する。 ・本時のねらいへつなげるために、提示してある折り紙をさらに半分に折る操作し、どんな大きさになったか問いかける。 ・もとの大きさと比べて考えることができるように、2等分した折り紙と、4等分した折り紙を提示する。 ・本時のねらいへつなげるために、4等分された図形と、等分せずに4つに分けた図形を示し、これも4等分と言えるか問いかける。 ・問題意識を持てるように、児童の言葉からめあてを立てる。 ・解決の見通しが持てるよう、等分されずに4つに分けた図形をさらにいくつか提示し、4等分された図形と比較するよう促す。 ・もとの大きさを1/4に分けたそれぞれの大きさが、全て同じ大きさであることを視覚的に捉えられるよう、ロイロノートで図形を重ねる操作をする。 ・考えを説明できるよう、発表するときの話型を示す。 ・自分の考えをロイロノートで示しながら、友達に発表する。 ・形にとらわれずに分数での表し方を理解できるよう、円や四角形で元の大きさを表し、それを4等分した図を提示する。 ・視覚的な操作を通して理解が深まるよう、提示された分数と同じ大きさを示す図形を選択する活動に取り組ませる。
<板書> ④ 1/4とは、どんな大きさなのだろう 4等分された図形と、等分せずに4つに分けた図形を提示する。  1/4とは、  の1つ分。		児童から出てきた、考えを板書する。 ⑤ 1/4とは、もとの大きさを同じ大きさに4つに分けた1つ分。
<授業後にイメージする児童の姿> ・1/4という大きさを、「もとの大きさを4つ同じ大きさに分けたうちの1つ分」と説明ができる。 ・様々な分け方の中から、同じ大きさに分けた等分のものを見つけだし、4分の1、3分の1などの分数として捉えることができる。		

〈大型提示装置〉
活動内容を例示する。

1
児童の考えをロイロノートで提示する
↓
〈振り返り〉
問題の図を提示する。